

新 都 第 1 6 0 号

平成20年10月20日

国土交通省道路局長 殿

新 居 町 長 中嶋正夫



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号により依頼のありました件について、別紙のとおり回答いたします。

1 まちの魅力の向上や安全安心のための整備

当町の中心部を通過する国道 301 号沿いには、国の特別史跡である「新居関所」があり、大型トラック等が多く通る幹線道路である。新居関所周辺では、騒音、振動はもとより朝夕の交通渋滞に悩まされているため、バイパス整備の早期実現は文化的な環境づくりに必要不可欠である。今後は、歴史資産を活かした良好な景観の形成や安心して歩けるまちづくりを進めることで、更なる「生活の質」の向上を図っていききたい。

2 道路財源の確保

道路整備には、長期的観点に立っての計画と膨大な費用を必要とするほか、当町の財政力も非常に厳しい状況にあり安定的な道路財源の確保が必要不可欠だと考える。閣議決定された「道路特定財源等に関する基本方針」においては、地方財政に道路特定財源の一般財源化などの影響を及ぼさないよう措置することになっていますが、未だに不透明な状況です。国におかれては、道路整備の重要性を深く認識され、適切な財政措置を講じていただきたい。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

静岡県新居町

○現状

- 1 豊かな生活・文化・歴史の再発見、継承と地域コミュニティの維持
文化財と歴史資産を活かし、交流人口の拡大を目指し、魅力あるまちづくりを進めている。

- (1)文化財復元整備
- (2)道路の修景整備
- (3)道路の無電柱化

2 安全で安心なまちづくり

都市基盤整備による快適な住まい環境のまちづくりの推進と
予想される東海地震や水害など、災害に強いまちづくりを進めて
いる。

- (1)災害に強い道路・河川の整備
- (2)交通安全施設整備
- (3)交通渋滞の解消

○課題

- 国道 301 号の交通計画を見直しバイパスの整備
- 交通安全施設整備事業

- 浜名バイパス新居弁天ICのフルインター化
- 社会基盤施設の老朽化対策の推進
- 交通安全施設整備における財源確保
- 通勤時の交通集中による渋滞対策

1 豊かな生活・文化・歴史の再発見、継承と地域コミュニティの維持

地域のアイデンティティを守り育て活かすことにより、地域の文化が守られ、地域コミュニティが維持され则认为。交流人口の拡大によるまちの空洞化を防ぎ、個性ある地域づくりを行う。

○新居関所復元整備 ○大御門復元プロジェクト ○道路の無電柱化 ○国道 301 号バイパスの整備

2 安全・安心のまちづくり

まちなかの歩行者・自転車の安全を確保するため、速度抑制や歩道の整備を行い、人にやさしい道づくりを進める。

○くらしのみちゾーン

3 災害に強いまちづくり

予想される東海地震や水害など、災害に強いまちづくりの推進が不可欠である。

○道路施設の延命化計画の策定 ○緊急輸送路の確保 ○浜名バイパス新居弁天ICのフルインター化

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

静岡県新居町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・良好な景観の形成	文化財を活かした良好な景観形成 ○道路の修景整備 ○道路の無電柱化 ○国道301号バイパスの建設等	○交流人口の拡大 ○定着人口の増加	
・安全・安心の実現	日常生活における安全を確保し、安心して暮らせるために、交通安全施設の整備を進める。 ○くらしのみちゾーン	○交通事故率の減少 ○まち歩き歩行者数の増加 ○暮らし満足度の向上	